

京セラ株式会社 個人投資家向け会社説明会

(2025年1月10日開催)

執行役員 経営管理本部 財務部長 宮田 智子 スピーチ

P2 目次

それでは早速、説明に入らせていただきます。本日はこちらの、

- 当社の紹介
- サステナブル経営の実現に向けて
- 株主還元

の順にご説明します。

P3 目次 1. 当社の紹介

まず、当社の紹介をさせていただきます。

P4 京セラの概要

こちらのスライドに京セラの概要を示しています。当社は1959年、昭和34年に「京都セラミック株式会社」として、稲盛和夫が京都で創業しました。現在も京都市伏見区に本社がございます。

東京証券取引所プライム市場に上場しており、前期2024年3月期の売上高は2兆42億円、税引前利益は1,361億円でした。

なお、当社への最低投資金額は、昨年12月末の株価で試算しますと、約16万円となります。

P5 グローバルな事業展開

続いて、事業状況についてご説明します。当社は京都で創業しましたが、2024年3月末時点で世界各国にあるグループ会社は293社、従業員はグループ全体で約7万9,000名にのびります。

また、地域別の売上高構成比をみますと、全体の約7割を海外からの売上額が占めているグローバル企業に成長しています。

P 6 社是・経営理念

次に、当社の社是と経営理念についてご説明します。

社是は西郷隆盛の思想にある「敬天愛人」です。常に公明正大 謙虚な心で仕事にあたり、天を敬い、人を愛し、仕事を愛することの大切さがこの言葉に込められています。経営理念は「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」としており、世のため人のために尽くすのは当然のこと、それに向けて懸命に努力する仲間を大切にすることを信条としています。

京セラグループの経営の原点は、創業者である稲盛が掲げたこの理念にあり、現在も、この経営理念をベースに事業を展開しています。

P 7 成長の軌跡<売上高>

続いて、当社の成長の軌跡についてご説明します。

こちらのスライドは、創業時からの売上高の推移と、主な事業の変遷を示しています。当社は、ブラウン管テレビ向け絶縁部品である「U字ケルシマ」の製造からスタートし、その後、幅広い分野へファインセラミック技術を展開してきました。

1966年に、米国IBM社の大型コンピュータへ当社のアルミナ基板が採用されたことで業界での高い信用力を得ることができました。これにより、ICを保護する部品である当社のセラミックパッケージの売上高が急速に伸び、成長を牽引しました。

1970年代からは、これまで培った技術をさらに応用展開し、太陽電池の開発を始めるとともに、M&Aによる事業領域の拡大を進め、携帯電話やプリンター、空圧・電動工具などの機器事業へ参入しました。

このように、ファインセラミック技術の応用展開と新たな事業開発を通じて、事業領域拡大を図ってきた結果、売上高は2023年3月期に2兆円を超える規模まで成長しました。

P 8 強固な財務基盤

次に、当社の強みの1つでもある、強固な財務基盤についてご説明いたします。

2024年3月末の当社の総資産は約4.5兆円、総資産に占める自己資本比率は72.2%です。この強固な財務基盤と高い株主資本比率により、急速に変化する事業環境下においても安定した経営を行うことができおり、創業以来、一度も赤字に陥ることなく黒字経営を継続しています。

また、この強固な財務基盤により積極的な投資を実施することで今後の成長を図っています。

P 9 事業紹介

続いて、当社の主要事業についてご紹介いたします。

当社の事業は大きく2つ、部品事業と機器・サービス事業に分けられ、売上高構成比は、部品事業が約45%、機器・サービス事業が約55%となっています。

スライド右側の部品事業は、コアコンポーネントセグメントと電子部品セグメントの2つのセグメントで構成されており、半導体製造装置用部品や車載カメラ、セラミックおよび有機のパッケージ、さらにセラミックコンデンサやタンタルコンデンサなどを、半導体や産業機械、自動車、情報通信関連及び民生市場向けに展開しています。

スライド左の機器・サービス事業はソリューションセグメントから成り、複合機および商業・産業用プリンターや、一般向けから各種産業向けの空圧・電動工具、法人向け通信端末や情報通信サービス、さらには自動車産業などに用いられる切削工具や住宅用蓄電システムなど、多種多様な製品およびサービスを展開しています。

P 10 京セラのファインセラミックス

ここで、当社のコア材料であり強みでもあるファインセラミックスについてご説明いたします。

ファインセラミックスとは、非金属、無機材料で、その製造工程において高温処理を受けたセラミックスの一種です。中でも、高度に制御・調整された「化学組成」や「製造プロセス」によって製造され、特に高い材料特性や寸法精度を備えたものを指します。傷がつきにくい、熱に強い、腐食しにくいなど、様々な特性があり、京セラは60年以上にわたる研究開発と優れた技術力で、数多くの独自製品を提供しています。

例えば、今では私たちの生活に欠かすことのできないスマートフォンや自動車には、多くの半導体が使われています。この半導体の製造工程においては、プラズマが発生する過酷な環境があり、腐食しにくい性質をもつ当社のファインセラミック部品が製造装置に採用されています。このようにファインセラミックスは、様々な特性を活かし、私たちの豊かな暮らしや幅広い産業を支えています。

P 11 多種多様な産業を支える京セラ製品

また、半導体製造装置の他にも、多種多様な産業で京セラの製品は活躍しています。

例えば、左上のスマートフォンの中には当社の水晶振動子やセラミックパッケージが多数入っています。また、塾などで使われる学習用タブレットといった製品もあれば、宇宙産業用部品など過酷な環境で利用される製品や安全な運転を支える自動車用部品、

さらには人体への影響が少ないセラミック製の医療製品など、その領域は多岐にわたっています。

P 1 2 私たちの暮らしに身近な京セラ製品

当社製品の中には、より私たちの暮らしに身近なものもあります。

例えばセラミックナイフや真空断熱タンブラーなどのキッチン用品や、充電式クリーナー、高圧洗浄機、さらにはご家庭向けの電動工具なども製造・販売しています。

ぜひお時間のある時に、こちらのスライドに記載のURLやQRコードより、製品情報をご覧くださいと思います。

P 1 3 目次 2. サステナブル経営の実現に向けて

つづいて、サステナブル経営の実現に向けた当社の取り組みについてご説明します。

P 1 4 当社を取り巻く事業環境

現在、当社を取り巻く事業環境は大きく変化しており、「半導体市場の中長期的な拡大」や「AIや5G、6G通信など新技術の社会実装本格化」、「世界的な環境意識の高まり」などが見込まれます。

当社は「情報通信市場」「環境・エネルギー市場」「自動車関連市場」「医療・ヘルスケア市場」の4つを重点市場としていますが、特に、「情報通信市場」における「AI半導体の需要増」や「AI搭載製品の普及」は当社の部品事業に対して、また、「環境・エネルギー市場」における「環境配慮型製品の需要増」や「新たなソリューションの登場」は当社機器・サービス事業に対して影響があり、大きな事業機会であると考えています。

P 1 5 今後の注力事業

このような事業機会に対する当社の今後の注力事業について、ご説明します。

まず上段の部品事業におけるAI関連の事業です。AI半導体の需要増により、半導体用部品や半導体製造装置用部品の受注拡大が見込まれることから、半導体パッケージや半導体製造装置用のファインセラミック部品の生産能力の増強を進めています。

また、一旦は成長が鈍化したスマホやパソコンも、今後AI搭載製品の普及が見込まれることから、積層セラミックコンデンサやスマホ部品用のセラミックパッケージの事業に注力しています。

下段、機器・サービス事業においては「環境配慮型製品の需要増」が見込まれることから、環境負荷を低減する新製品やサービスの積極展開が重要と考えており、捺染インクジェットプリンターや再生可能エネルギーサービスなどの事業拡大を図っています。

また、「新たなソリューションの登場」に向けては、独自技術を活かした新事業開発に取り組んでいます。都心部での5G通信エリア拡大を目的としたミリ波中継器や、協働ロボットを智能化するロボティックサービスなどに注力しています。

P 1 6 捺染インクジェットプリンター「FOREARTH」

環境配慮型製品の事例として、捺染インクジェットプリンター「フォレアス」をご紹介します。

現在、繊維・アパレル産業において、水の大量消費や、製品の過剰生産による在庫過多などが大きな社会課題となっています。それらの課題解決に貢献するため、当社のインクジェット技術を活かした捺染インクジェットプリンター「フォレアス」を開発しました。フォレアスは、水の使用を極限まで削減する「ウォーターフリー」、多彩な表現をさまざまな生地へ展開する「クリエイティブフリー」、今ほしいデザインを今すぐカタチにする「ロケーションフリー」の3つの特長を持った地球環境に優しい製品です。

本日私が身に着けているスカーフもこのフォレアスで印刷したものです。通常の顔料を使用すると生地は固くなりますが、当社独自の顔料を使うことでシルク100%の手触りを残すことが可能です。

このように、当社は今後もさまざまな社会課題を技術の力で解決していきたいと考えています。

P 1 7 京セラが目指す方向性

多くの事業を持つ京セラですが、その目指すべき方向性を示したのがこちらのグラフになります。円の大きさは3つのセグメントのそれぞれの売上高を示しており、横軸は事業別の投下資本利益率（ROI C）、縦軸は市場成長率です。

3つのセグメントの前期実績をピンク色で示していますが、ROI C向上に向けて今後、収益性や成長性に課題がある事業の一部撤退を進めていくとともに、先ほど説明しました注力領域を中心としたコア事業にリソースを集中させます。これらの取り組みにより、まずは京セラグループでROE 7%、PBR 1倍以上を目指します。

このように、各セグメントの事業価値向上を通じて、様々な経営環境変化に対応するサステナブルな事業ポートフォリオの構築に努めていきます。

P 1 8 ESGの取り組み (1)

続いて、サステナブル経営のために重要な、ESGの取り組みについてご説明します。

まずスライド左側の環境関連では、当社は2020年3月より、気候関連リスク・機会についての情報開示を推奨する国際的なタスクフォースであるTCFDへの賛同を表明しており、温室効果ガスの排出量や再生可能エネルギーの導入量の具体的な長期環境目標を設定しています。2051年3月期には、温室効果ガスの排出量と吸収量を実質的にゼロにする、カーボンニュートラルの実現を目指しています。これらの実現に向けて、自社拠点における太陽光発電システムの設置など再生可能エネルギーの導入促進や、高効率設備への更新など、全社一丸となった省エネ推進に努めています。

次に、スライド右側に示しています人的資本等、社会に関する取り組みについては、人権の尊重として責任ある企業同盟であるRBAへの加盟や、社内にてハラスメントや差別の禁止教育などを実施しています。

また、従業員一人ひとりが生き生きと働ける職場や現場作りを目指し、従業員エンゲージメントの向上や、多様性を意味するダイバーシティ、公正性を示すエクイティ、包括性を表すインクルージョンの推進に努めています。

当社の取り組み例として、こちらに女性管理職数と比率の推移グラフを記しています。当社では女性活躍推進に取り組んでおり、2023年度の女性管理職比率は5.3%まで増加しました。2025年度までにその比率を8%まで増やすべく、キャリア育成プログラムなどの取り組みを実施しています。本日は当社ブースにも女性スタッフがいますが、そのような意味でも女性活躍に取り組んでいるところです。

P 1 9 ESGの取り組み (2)

ESGの最後に、ガバナンスについてご説明します。

当社は取締役会の監督機能の強化と、取締役会及び監査役会の更なる多様化を促進しています。こちらのスライドに示しましたとおり、現在では、社外取締役比率は40%へ、女性取締役比率は20%へ、女性監査役比率は25%へ向上しており、引き続き、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

これまでご説明してきました事業及びESGに対する取り組みにより、サステナブルな経営を実践してまいります。

P 2 0 (ご参考) 社外からの評価

こちらのスライドにはご参考として当社の取り組みに対する社外からの評価を記載しています。

スライド左は国際的非営利団体、CDPによる「環境」に対する活動の評価です。これまでに最高評価であるAリストや、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」へ選定いただいています。また、右上の、企業のサステナビリティの評価やESGの管理・改善のためのプラットフォームを提供する機関であるエコバディスからは、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」に対する活動の評価をいただきました。右下は、厚生労働省が優良な子育てサポート企業に対して認定するプラチナくるみんです。こちらにも2021年に取得しています。

P 2 1 目次 3. 株主還元

最後に株主還元についてご説明いたします。

P 2 2 株主還元

当社の株主還元は、配当性向50%程度を目安とする配当金と、自社株買いを適宜実施することを基本方針としており、グラフに示します通り、高水準の株主還元を維持しています。

なお、今期の配当金は前期と同額の50円を予想しています。

P 2 3 株主優待

次に、当社の株主優待についてご説明します。

株主の皆さまの日ごろのご支援に感謝するとともに、当社事業に対するご理解をより深めていただくため、2つの制度を用意しています。

左側の継続保有株主様向け優待は、毎年3月末の対象株主様に対して、保有株式数と保有期間に応じて、Q U Oカードまたはカタログギフトを進呈しています。

右側の株主様向け通信販売は、毎年3月末と9月末の全ての株主様に、当社グループの製品やサービスを、特別価格や特別企画にてご提供しています。

P 2 4 当社 I R サイト・メール配信サービスのご紹介

次に、当社 I R サイト及びメール配信サービスをご紹介します。

まずスライド左の当社 I R サイトでは、個人投資家の皆様へのページをご用意しています。

当社グループをより身近に感じていただけるよう、事業内容や業績などをご紹介しますので、ぜひご覧ください。

また、スライド右の当社IRメール配信サービスにご登録いただきますと、決算発表やプレスリリースなどのIR情報を、メールでタイムリーに受信できますので、こちらも是非ご登録いただければ幸いです。

P 2 5 当社関連施設のご紹介

最後に、京都にお越しになることがございましたら、ぜひ当社本社にもお越しいただければと思います。

京都市伏見区にある当社本社ビル1階の京セラギャラリーでは、収蔵品の常設展示のほか、年に1～2回、特別展を開催しています。特別展などについては当社ウェブサイトなどでご案内しており、個人様でのご見学は予約不要となっています。

また、本社ビルの隣には「稲盛ライブラリー」がございます。

創業者、稲盛和夫の人生哲学、経営哲学を中心に、技術者、経営者としての足跡や社会活動を展示しています。こちらは事前のご予約が必要となりますので、ウェブサイトよりお申し込みください。

P 2 6 ご清聴ありがとうございました

以上で、私からのご説明を終了させていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

以 上